

Higashiyama Artists Placement Service

HAPS | ANNUAL REPORT 2015

事業報告書 2015 年度



早いもので HAPS も4年目を終えようとしています。

アーティストのための相談窓口を軸に、物件コーディネーターや、キュレーター招聘、展覧会開催など、様々な活動を展開してきました。それぞれが若手アーティストへのサポート、ひいては京都の文化芸術振興の一助になっていることを心から願っています。

今年度、京都では京都国際現代芸術祭 PARASOPHIA の開催やロームシアター京都のオープンが話題を集めました。「東アジア文化都市(2017)」や、京都市美術館再整備、国際博物館会議、京都市立芸術大学移転など今後もさまざまなプログラムが京都市にて計画されていきます。HAPS としては、先鋭的な文化芸術の発展を担っていく役割がますます重要になっていくでしょう。今後とも HAPS を温かい目で見守っていただき、時には厳しいご意見、あるいは新しい試みへの要望などをお寄せいただければ幸いです。ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

遠藤水城

2015年度 実行委員メンバー

■実行委員長

遠藤水城 インディペンデント・キュレーター

■副実行委員長

小崎哲哉 有限会社小崎哲哉事務所代表 / Realtokyo & Realkyoto 発行人兼編集長

■実行委員

井上えり子 京都女子大学家政学部生活造形学科准教授
鍵村勝人 京都市東山区役所地域力推進室まちづくり推進課長
加須屋明子 京都市立芸術大学美術学部准教授
勝冶真美 京都芸術センタープログラムディレクター
後藤結美子 京都市美術館学芸課学芸員
菅谷幸弘 六原自治連合会事務局長
樋口貞幸 特定非営利活動法人アート NPO リンク事務局長
福永敏三 新道自治連合会 副会長
堀田真由美 京都新聞編集局ニュース編集部記者
松本泰章 京都嵯峨芸術大学芸術学部造形学科教授
ヤノベケンジ 京都造形芸術大学美術工芸学科教授
山田創平 京都精華大学文学部准教授
吉岡久美子 京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課計画推進担当課長

アドバイザー (2016年3月時点 順不同)

建島哲 京都芸術センター館長 / 多摩美術大学学長
椿昇 京都造形芸術大学美術工芸学科長
島本澁 京都精華大学芸術学部教授
名和晃平 アーティスト
高嶺格 アーティスト
小山登美夫 小山登美夫ギャラリー株式会社 代表取締役
松尾恵 MATSUO MEGUMI + VOICE GALLERY pfs / w 代表
吉岡洋 京都大学大学院文学研究科教授
潮江宏三 京都市美術館館長
富永茂樹 京都大学名誉教授
藤田裕之 京都市副市長 (敬称略)

事務局

芦立さやか 藏原藍子 埴美智子

相談いろいろ

2015年度にHAPSによせられた相談の一部です。

関西のキュレーターを紹介してほしい

展示会のためのDM作成と印刷を依頼できるところを紹介してほしい

部屋を作品や材料が占めるようになって困っている。なるべく安価で短期間だけ借りられる倉庫などのスペースはないか。

引っ越し先に持っていけない、大事な庭木を譲りたい

京都に移住して来た。交流ができるような、アーティストが集まるシェアハウスや場所があれば教えてほしい

他のスタジオと連携したオープンスタジオを開催したい

京都で映像作品の上映会を開催したい

空き家再生に学生を参加させたい

アーティストと場所と観客をつなぐ仕事がしたい。そのための勉強をしたり、経験を積みたいが、どうすればいいでしょうか

アーティストに活用していただきたい木材がある

空き家を活用してスタジオにするため、空き家の補助金申請の相談にのってほしい

活用する空き家の改修工事のための業者を紹介してほしい

京都で小規模/短期の国際的なアーティスト・イン・レジデンスプログラムを立ち上げてみようと考えている

昔話や着物、能など子どもたちが日本文化に触れる機会をつくりたい

両親の家が長い間空き家になっている。京都市の補助金で改修をしようと思うので、借り手を探したい

京都で演劇公演を行なう劇団だが、滞在できる場所を探している

とある京都在住アーティストの連絡先を知りたい

住居兼スタジオとして改装ができ、家賃も安いところを探している

障害者による作品のギャラリーを作るにあたり、アドバイスがほしい

エアリアルダンスをやっているので、天上から紐を吊るしてダンスの練習ができる物件を探している

えびす祭りの神輿の担ぎ手を探している。またお祭りを手伝ってほしい

染色出身の3人でシェアできるスタジオ物件を探している

展示会を行うための助成金の申請について詳しく知りたい

共同スタジオでメンバーに空きがあるので情報掲載してほしい

コラージュ作品に用いる包装紙などにかかる著作権について相談したい

老舗企業との商品企画の案件があり、木版画の彫師を探している

会社で所有している一軒家が空いている。文化的なエリアにあるので芸術家の人に入ってもらいたい

プロジェクトの展示を行うため、貝殻を集めているので協力してほしい

イベントで通訳できる方を探している

海外のコレクターが日本画の作品を購入したいと考えており、若いアーティストを紹介してほしい

プロジェクトに参加してくれるアーティストを探している

パフォーマンス作品のための映像を撮影できる人物を探している

夏休みにインターンなど、HAPSで何か活動できる機会はないか

町家で料金もなるべく掛からないギャラリーをさがしている

結婚の記念撮影を写真家にしてもらいたい

映像制作会社と一緒に仕事ができるフリーの制作者を探している

アムステルダムを拠点としているアーティストだが、1ヶ月間日本に滞在するので、他のアーティストと知り合いたい

展示会の企画を行っている。メキシコ人男性1名、韓国人女性1名、日本人男性1名の3名のアーティストが泊まれる場所はないか

美術関係の著作を、トークなどで紹介できる場所を探している

シルクスクリーンや銅版画のできるスタジオを探している

短期(3、4ヶ月)限定で、フィルム現像と引き伸ばし機を使っの暗室作業ができる場所を探している

家業でやっていた染め工場が空いており、反物を干していた広い空間がある。アーティストに向いているのではないか

演劇公演のための会場を探している

自身の活動のマネジメントについて相談したい

新聞に掲載されていたプロジェクトマッピングのアーティストに連絡をとりたい

家業で縫製工場をやっており、自宅の中に作業室がある。ぜひものづくりをする人に引き継いで使ってもらいたい

レジデンスの情報を掲載してほしい

緞帳の糸5tを廃棄予定の方がいるが、アーティスト等で欲しい方はいないだろうか

ギャラリーを始めるにあたり、広報協力してほしい

転借してよいという条件で路地奥のボロボロの空き家を借りて改装をした。アーティストにスタジオや展示場所として使ってもらいたい

自分が企画している展示会のために日本のアーティストのリサーチをしたい

展示で使用するブラウン管テレビを借りられるところを探している

アートと精神分析をつなげるギャラリー兼オフィスのようなスペースをつくりたい

パフォーマンス・アートのグループを旗揚げしたが、舞台美術まで含めた作品作りをするための自主稽古場やスタジオを探したい

ボロボロでもよいので短期で住める家を探している

100号サイズ以上の作品を描くために天上が高く、床などが汚れても大丈夫な場所を探している

写真フェスティバルのための作品保管用倉庫を探している

写真集のための編集作業をしたり、作品を見せたりする事務所を作りたい

ワークショップができる場所を探している

アートスペースで働きたい

ミッション

- 京都在住の芸術家たちの居住・制作・発表を包括的に支援する(芸術家支援)
- 芸術家たちの創造性を京都市の活力へと繋ぐ(地域創造)
- 国内外の芸術機関と多様な協力体制を構築する(ネットワーク形成)
- 新たな芸術のあり方と、新たな社会のあり方を共に探求する(イノベーション活動)



1. ALLNIGHT HAPS 関連イベント「おもフェス」での一コマ 2. 遠藤水城、サンドラ・シコロヴァ、大塚亮真、佐藤知久、伊藤存、ブブ・ド・ラ・マドレーヌが参加したオープン・ディスカッション「表現と倫理の現在」より (2016.3.25 Social Kitchen にて) 3. HAPS オフィス天井に金氏徹平作品が設置されました 4. 米子匡司によるライブ。音楽会 (と談話)「表現のたね 歌の景色〜元新道小学校音楽室 Ver.〜」より (2016.3.12 HAPS スタジオにて)

5. 「おもフェス」でのシルクスクリン実演 6. 天井裏補修 / 断熱 技術伝授ワークショップ (2015.7.3-4) 7. HAPS スタジオ・トーチカのスタジオにて。8. 2015年7月にお披露目となった、イズミスタジオにて。9. HAPS スタジオ管理室より。10. HAPS スタジオの使用アーティストも仮装して参加したハロウィンパーティ。(2015.10.31 新進児童館にて)



11



16



15



14



12



HAPSとは？

設立の経緯

京都市は、「京都文化芸術都市創生条例」に基づき、具体的な指針として策定する「京都文化芸術都市創生計画」（2007年3月）において、「若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくり」事業を計画しました。2009年4月から調査を開始し、事業のプランニングに着手。2011年9月、上記事業を主として実施する組織として、各分野の専門家で構成する「東山アーティスト・プレイスメント・サービス実行委員会」が設立されました。HAPSは、その略称です（読み：ハップス）。

京都のアーティストの場作り支援

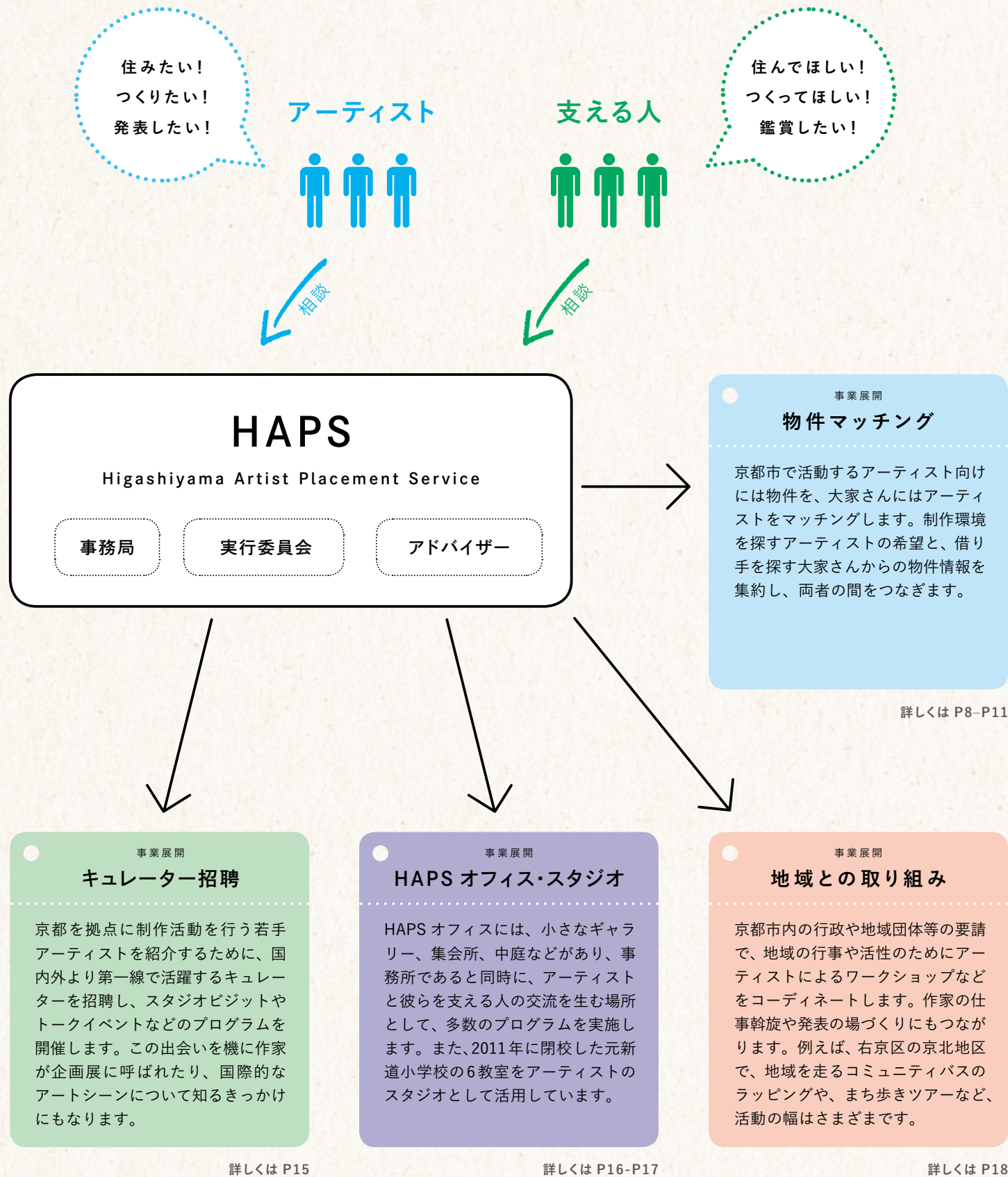
この困難な時代に生きる芸術家たちを支えること。それは、「美術」という一つのジャンルを守るのではなく、私たちの社会全体の豊かさを維持し、さらに新しい可能性を開いていくことに繋がります。多くの芸術家がそこに住まい、生活している街。あるいは逆に、そこで暮らしている人間が芸術家になりうる、芸術家でありうる街。切実な表現、独創的な作品、かけがえない営為が多くの人に見られ、共有されている街。HAPSは、個人の生き方と社会のあり方を組み替え、文化芸術が最大限のポテンシャルを発揮できる環境を京都市に作り出すことを、その目標としています。

アーティストと
アーティストを支える人のための、
よろず相談所です。

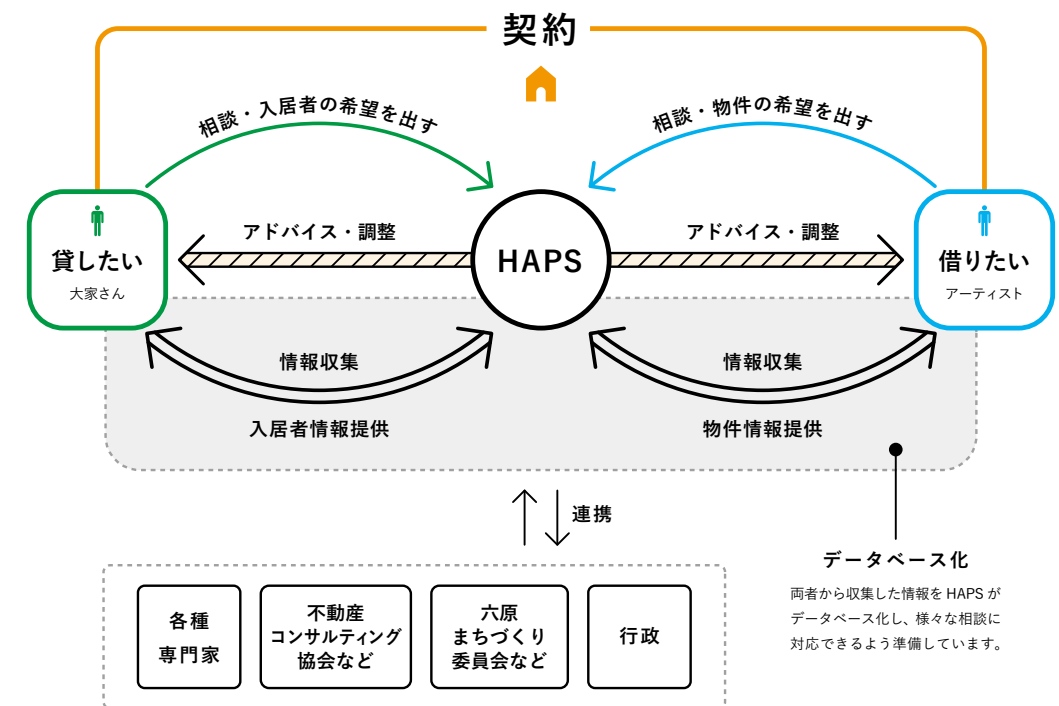
11. トーク「プリコラー・ジュシヨック！ーいしをいだく」より、小山田徹さんが石の手触りについて語る（2016.3.12 HAPS スタジオにて） 12. 協力展覧会「みんなみいにくみ・な・み・く エキシジョン」会場となったヒスロム作業場 13.「おもフェス」での遠藤水城 x 金沢徹平 x 山崎伸吾トーク（2015.11.1 HAPS オフィスにて） 14. トーク「『後美術論』の先と後」（2016.3.13 MEDIA SHOPにて） 15. HAPS スタジオ管理室より。 16. 毛原大樹による展示「Telephonovision」（2016.3.12 HAPS スタジオにて）

HAPSの支援活動とは？

HAPSの活動は、相談があって初めて成り立ちます。
相談をきっかけに、さまざまな支援活動を展開しています。



< 物件マッチングのしくみ >



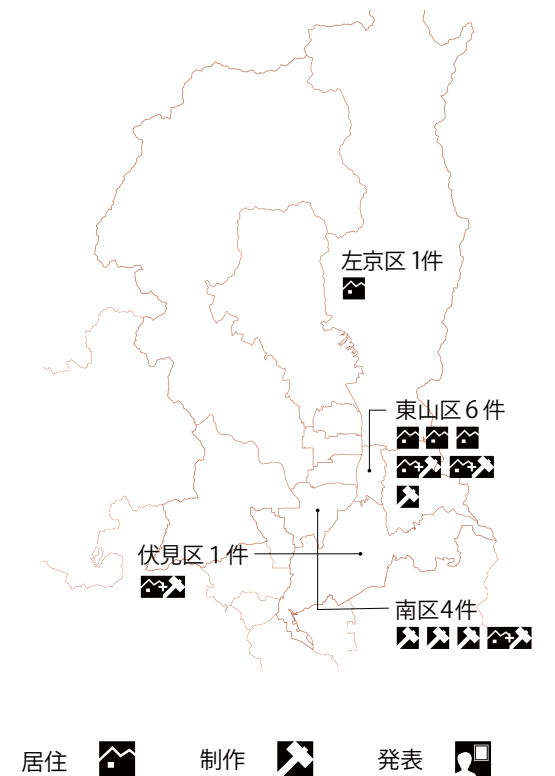
京都市全域を対象に、アトリエや住まいを探しているアーティストに物件を紹介。アーティストと大家さんの双方の要望に合致するようにマッチングしていきます。

社会的に空き家問題への関心が高まっている中、HAPSでは、アーティストにしかできない方法での問題解決を提案しています。しかし同時に、貸主・借主双方のニーズの多様化によってマッチング成立にあたっての手続きが複雑化してきています。

京都市都市計画局による「京都市空き家活用・流通支援等補助金」等の制度を利用して、建物改修をおこなうマッチング事例も増加しました。

また、HAPSが拠点を置く東山区六原地区では、地元有志と各専門家が連携し、空き家や防災等の問題に取り組む「六原まちづくり委員会」に参加しています。今年度は同委員会との総合的な連携のもと、長年空き家だった地区内の物件をアーティストによる活用へと繋げることができました。

< 2015年度実績 >



相談 & 展開事例

2015年度、HAPSにはこんな相談が寄せられました。

事例 1

中村裕太 Yuta Nakamura

キュレーターとの出会いから、国際展出展へ

京都在住の美術家、中村裕太さんが、HAPSが行ったキュレーター招聘プログラム(→P15)が契機となり、オーストラリアで開催される2つの国際展に出展しました。2013年に招聘したルーベン・キーハンさんにより、2015年11月～2016年4月に、クイーンズランド・アートギャラリー、ブリスベン近代美術館にて行われた「第8回アジア・パシフィック現代美術トリエンナーレ」に、また、2014年に招聘したステファニー・ローゼンタールさんによって、2016

年3月～6月まで開催される「第20回シドニー・ビエンナーレ」に、選出されました。

中村さんは、「民俗と建築にまつわる工芸」という視点から、タイル、陶磁史などの研究と作品制作を行っており、アジア文化圏としての意識やアーカイブ性の高い作品、そのプロセスなどが評価されました。

加えて、国際展に出展するにあたっての制作のプランニング、事務的な部分に関しても中村さんより相談を受け、HAPSにてサポートを行いました。



タイルにサンドブラストという技法で文字を彫った作品



明治に来日した生物学者モースの足跡を辿り、収集した陶片や絵葉書を組み合わせた作品「日本陶片地図」

事例 2

イズミスタジオ IZUMI STUDIO

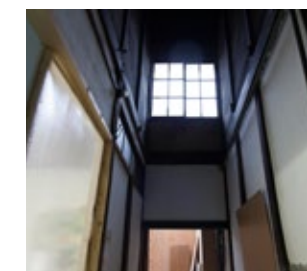
2軒が繋がった長屋を、共同スタジオに改修

京都市東山区の大きな寺院も多いエリア、陶工の住まい兼作業場でしたが長く空き家だった物件に関して不動産業者の方から、土間も生かした特徴的な作りもあり、アーティスト向けではないかとの相談を受けました。そこで、住居兼スタジオを探していた芸術大学卒業直後の7名のアーティストたちとのマッチングを行いました。彼女たちは2014年4月より入居&改装をスタート。メンバーそれぞれのブースを作るために壁を建てたり、廊下を作ったり、ト

タンの屋根を設置したりといった改修を自身たちで行い、2015年7月に完成、お披露目となりました。一部メンバーの住居&共有スペースとしても使用出来るスペースです。メンバーは、入れ替えなどあり、2016年3月時点では東條由佳さん、平松実紗さん、吉田純也さん、吉田紳平さん、渡辺雅絵さんの5名にて使用中。オープンスタジオやイベントなど、今後も行っていくとのこと。



玄関は2つある。



吹き抜けの空間も特徴的。

VOICE

美術家

中村裕太さん

初の国際展、作品の捉えられ方などが国内の展示とは全く異なり、自分の作品の文脈などを強固にするまたとない機会となりました。国内向けに広報資料をリリースしていたなど、手厚いサポートに感謝しています。



VOICE

アーティスト

東條由佳さん

共同生活と制作が一つの場所で行えるのは理想でした。思いついた時に制作できるし、みんながいるからやる気も出るし、刺激にもなります。オープニングイベントの時、地域の人もとても喜んでくれたのが印象的でした。



VOICE

株式会社 都ハウジング

荒川博さん

本物件は特殊な間取り等の特異性もあり、長く使い手のないまま空き家となっていました。HAPSの活動を通じてアーティストの皆様にご活用頂くことが出来、大変嬉しく思っております。





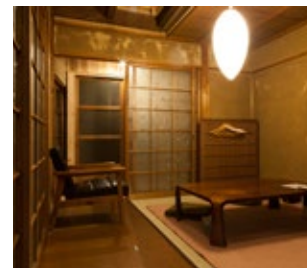
事例 3

梶川裕仙 Hironori Kajikawa

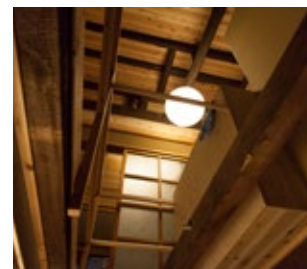
「いろんな人の協力でいただいた縁です」

五条坂で十数年空き家となっていた物件を、六原まちづくり委員会と協力し、活用を大家さんに相談するところから始まりました。一方でHAPSに住居兼アトリエを探して相談にいられていた梶川裕仙さんとの物件をマッチング。梶川さんは、近くのゲストハウスのマネージャーを務める傍ら、陶器の絵付けやデザインなどを行っています。大家さんと借主の顔合わせから、京都市の「空き家活用・流通支援等補助金」

の申請、委員会のメンバーである建築士の方との相談や片付けなどもサポートしました。改装は2015年9月に完了し、入居。お風呂場がなかったため、シャワー室を2階に設置したり、2階の床を抜いて、吹き抜けを作ったりするなど、大胆で遊び心のある改装が実現しました。「古いものをちゃんと残して現代に使える喜びをかみしめています」と梶川さん。今後は中庭などにも手を入れていくそうです。



綺麗だった壁や建具など、元の造りを生かした改装



吹き抜けから自然光を取り入れる大胆な造り



家主

富吉則文さん

六原まちづくり委員会から、倉庫代わりに使っていた家を空き家のままにせず活用しないかと提案がありました。どんな人が入居するのか気かりでしたが、HAPSを通じて、地域に根ざして制作活動をする梶川さんを紹介してもらえました。良い人に入ってもらえて、交流も楽しんでいます。



六原まちづくり委員会 委員/建築士

寺川 徹さん

家を貸す側は、どんな人が入居するかが一番の心配事。この物件はリフォーム後に借り手を探すのではなく、あらかじめHAPSさんのご協力で入居希望者を募り、入居希望者と大家さんの顔合わせを行った上で、リフォームを行いました。大家さんも安心して空き家を貸せたのではないかと思います。



事例 4

銭湯を会場に行われる芸術祭に協力

銭湯を単なる展示場所としてだけでなく、銭湯という特性をきっかけに社会と芸術の接点を模索する“祭”的展覧会企画「京都銭湯芸術祭二〇一五」に、昨年引き続き協力。HAPSのある東山区の大黒湯さん(山城町)を紹介、展示会場として開催されました。

VOICE

HAPSでは、トークショーのゲストや銭湯などのつながりをサポートいただきました。東山区の旭湯さんでは、会期終了後も作品を活用していただき、銭湯という場所の新しい面を引き出したのではないかと思います。(西垣肇也樹さん/アーティスト・京都銭湯芸術祭 実行委員)



data
京都銭湯芸術祭二〇一五
2015年4月18日～5月17日
京都市内8カ所の銭湯にて



事例 5

設計事務所の紹介。オープンに合わせた展覧会にも発展

屋外などで遊びを通して作品制作、美術の分野で発表を行うグループ、hyslomからの相談で、アトリエとして南区の長屋物件をマッチング。また、ランチ! 設計舎が設計を担当し改装を行っていくなかで、南区で活動する「みかんマルシェ」の展覧会をオープン企画として開催することになるなど、広がりのある展開となりました。

VOICE

長屋を一部買ったり、解体段階から展示のイメージをふくらませたり、その場でセッションのようにアーティストと一緒に空間作りに関わることができたのは楽しかったです。(和田寛司さん/ランチ! 設計舎・みかんマルシェ実行委員会)



data
「みんなみこくみ・な・み・くエキシビション」
2016年3月12日-27日



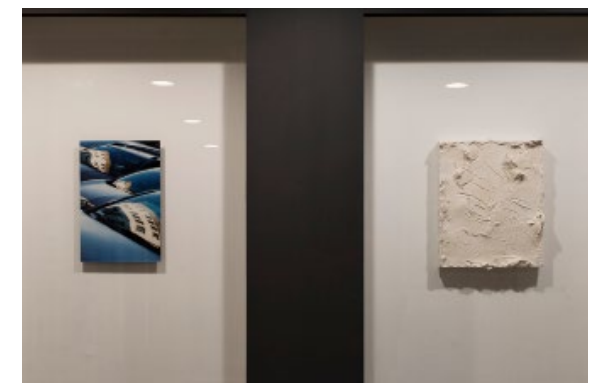
事例 6

居住するマンションでの作品展示

マンションに入居希望のアーティスト、水木壘さん、嶋春香さんより相談を受け、HAPSがこれまで六原まちづくり委員会等でも一緒に活動してきた不動産業者・八清さんに紹介。八清さんより新たに組みたい企画として提案をいただき、エントランス部分に作品展示スペースが設けられました。アーティストが住むことと、作品展示が結びついた、今までにないマッチングの形態となりました。

VOICE

エントランスに、名画の複製などでなく作品が展示されていて、時々展示替えもある、というのは、マンションのコミュニケーションのあり方の一つとして面白いと思っています。そこからアートや作家への興味につながれば嬉しいです。(水木壘さん/アーティスト)



data
2015年4月～
京都市内



主催事業

2015年度、HAPSではこのような事業を主催しました。



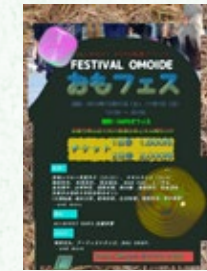
ALLNIGHT HAPS 関連企画

おもフェス

開催日：2015年10月31日(土)～11月1日(日)

本年度のALLNIGHT HAPSの関連企画として、HAPS オフィスにて2日間のイベントを行いました。縁側と応接の2つのステージにて、音楽ライブ、パフォーマンス、映像、調理など、HAPS スタジオ使用アーティストや関西以外のミュージシャンなども入り混じる賑やかな内容に。出展作家による展示やアーティストショップもありました。

たくさんの思い出が生まれる、そんなフェスティバル。



FESTIVAL OMOIDE | おもフェス

出演：みあん(青柳いづみ×青葉市子)、オオルタイチ、梅田哲也、松見拓也、荒木優光、MADEGG、トーチカ、松本清和、塚原悠也、カワイオカムラ、もぐらが一周するまで、南大輔、金氏徹平、山崎伸吾、遠藤水城

展示：ALLNIGHT HAPS 出展作家

SHOP：喫茶文九、BAU SHOP、みず色クラブ、阿見T商店、アーティストグッズ…and more

記録：松見拓也、飯川雄大

VOICE

ALLNIGHT HAPS チラシデザイン

南大輔さん

チラシを任せられたときは正直不安でしたが、自由にデザインさせてもらえて楽しくできました。『おもフェス』は大人のお楽しみ会、学芸会っぽくて手作り感がありました。背伸びしない普段着のフェス。ハロウィンと重なったせいか近所の子供たちが走り回ったりして地蔵盆のような雰囲気もありました。



12組のアーティストによる、オフィスを使った夜通しの展覧会。

主催事業 1

ALLNIGHT HAPS

会期：2015年7月1日(水)～10月31日(土)、
2015年11月7日(土)～2016年2月29日(月)

若手アーティストの発表を支援するとともに、若手キュレーター養成を目的として、オフィスの玄関を小さな展示空間として活用しています。毎年2名のキュレーターをお願いして、夜7時から朝10時まで開催する展覧会です。2015年度は、前期に美術家として活躍する金氏徹平、後期に音楽家であり、数々のイベント企画運営を行ってきた山崎伸吾による企画展を開催しました。



□第一期：「逆流」(企画：金氏徹平)

2015年7月1日(水)～10月31日(土)

出展作家：TV Moore / 森千裕 / カワイオカムラ / 小沢健人 / 藤澤信輔 / 京都市立芸術大学彫刻専攻ゼミ1(川瀬結美、君嶋紗帆、楠井沙耶、辻村知夏、御厨阿未、宮木亜葉) / 金氏徹平

□第二期：「DEMO」(企画：山崎伸吾)

2015年11月7日(土)～2016年2月29日(月)

出展作家：荒木優光 / 金氏徹平 / 小松千倫 / 松見拓也 / 梅田哲也

VOICE

ALLNIGHT HAPS「DEMO」企画

山崎伸吾さん

「生きていくことはとても困難だ。きっと涙も枯れることはない。」もし、その上で日常生活があるとしたならば、僕は未来に思い出を作ろうとする。展覧会「DEMO」と、「おもフェス」(お祭り)とそんな関係性。始まりはしたけど、最後に「それで終わったのか」と問われた良き機会でした。



HAPS スタジオ

HAPS では小学校の教室をアーティストのスタジオとして活用しています。



yang02 (やんツー)

1984年神奈川県生まれ。2009年多摩美術大学大学院修了。デジタルメディアを基盤に、公共圏での表現にインスパイアされた作品を多く制作する。2015年度は、主なグループ展に「ICC オープン・スペース 2015」(NTT インターコミュニケーションセンター)、「動きのカガク展」(21_21 DESIGN SIGHT)、また2015年、高松メディアアート祭にて優秀賞受賞。

VOICE

昨年の4月からHAPSスタジオの使用を開始して、もうすぐ一年が経とうとしていますが、その間に参加した展覧会は17つ。このスタジオなしにはこなせなかったなど、振り返ってみて思います。残りの期間も有効に活用していきたいです。(yang02 (やんツー) 第4期HAPSスタジオ使用者)



鏡世界社 (松見拓也、NAZE)

写真やグラフィックデザインを行う松見拓也と、ドローイングや立体作品を主に扱うNAZEによる二人組ユニット。ともに京都精華大学デザイン学部卒業。両者は2010年よりパフォーマンスユニット contact Gonzoにも加入している。2012年12月使用開始。



毛原大樹

1982年東京生まれ。東京芸術大学大学院美術研究科修了。アナログ放送用電波、ラジオ、テレビを用いたアートプロジェクト多数。2014年度は「MOVING 2015」(京都芸術センター)、「NEW HOME」(同)などに参加。2012年12月使用開始。

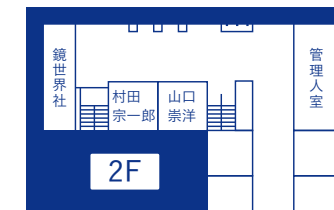
HAPS スタジオとは？

2012年12月より、京都を拠点に活動をしていく美術系アーティストのために、小学校の教室を利用した制作スタジオを提供、現在6教室を運営しています。2011年に閉校した元新道小学校は、東側に名刹建仁寺、北側に京都ゑびす神社、西側に京都五花街の一つ宮川町と京都の風情を醸し出す地域にあります。2015年の4月に第4期の使用者としてアーティストの yang02 を選出しました。



京都の中心地で、四条河原町や祇園にも近く、大変便利な場所にある。

スタジオマップ



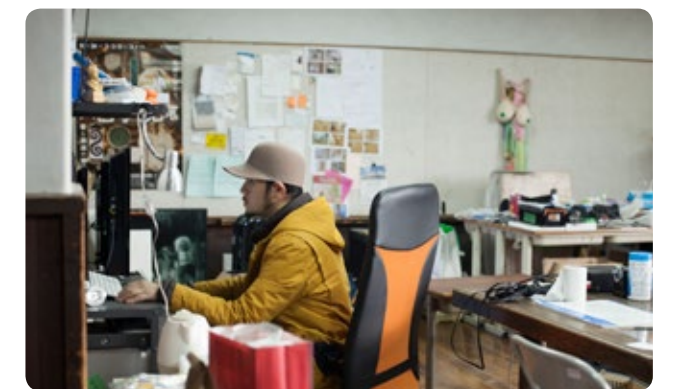
谷中佑輔

1988年大阪府生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。2015年度は、グループ展「still moving」(元・崇仁小学校/崇仁地域周辺、2015年)、「クロニクル、クロニクル!」(CCOクリエイティブセンター大阪、2016年)などに参加。2014年4月使用開始。



村田宗一郎

1985年神奈川県生まれ。東京芸術大学美術学部先端芸術表現科中退。2015年度は、グループ展「Before Night Falls 夜になるまえに」(ARTZONE、2015年)、「kiseki - キセキ -」(観音寺正月堂 客殿、2015年)などに参加。2013年4月使用開始。



トーチカ

ナガタケシとモノノカゾエによるアーティスト・ユニット。ともに1978年生まれ。光を用いて空中に絵を描き、アニメーションを作る「PiKaPiKa」シリーズほか、実験的な手法で表現を行う映像やインスタレーションを制作している。2015年度は、個展「トーチカ展-ひかりあそび」(黒部市美術館、2015年)ほか、展示・上映多数。2014年4月使用開始。

資格不問、最長3年。ただし、世界的に活躍する用意のあるアーティストに限る。

地域のなかのHAPS

2015年度、HAPSではいくつかの地域主催のイベントやお祭りなどと連携し、協力・参加いたしました。



えびす祭

2015年5月17日
京都えびす神社にて



ハロウィンパーティ

2015年10月31日
新道児童館にて



六原フェスタ

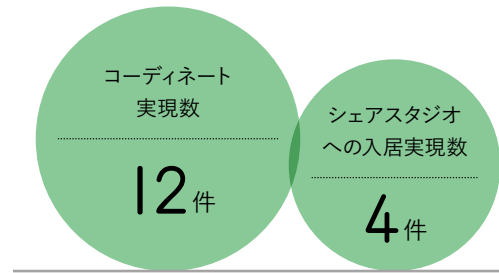
2015年11月8日
藤平陶芸登窯跡地、やすらぎ・ふれあい館、六原公園にて



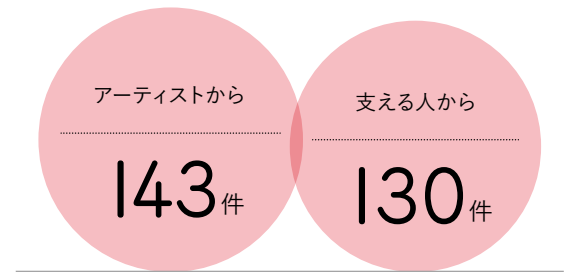
新道学区餅つき大会

2015年11月15日
元新道小学校にて

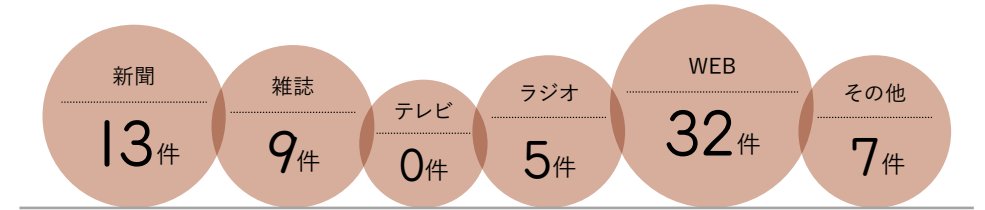
2015年度 HAPS 事業実績



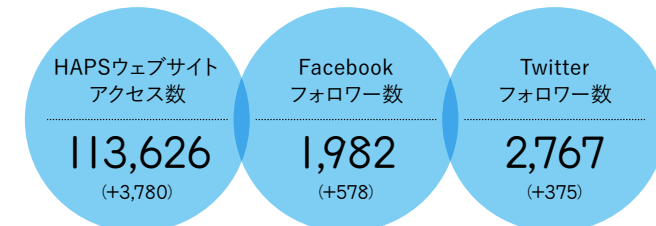
物件マッチング



相談受付数/計273件



プレスに関する統計/計66件



インターネットに関する統計



主催事業

タイトル	開催日	会場	ゲスト	共催等
第4期 HAPS スタジオ使用開始	2015/4/1	HAPS スタジオ		
神馬啓佑個展「眼球に近い面」	2015/5/28-6/29	HAPS		
キュレーター招聘 レジーナ・バルンケ氏 (テンポラリー・ギャラリー アーティスティック・ディレクター)	2015/6/4-7	HAPS スタジオなど市内スタジオ		共催: 京都芸術センター
キュレータートーク レジーナ・バルンケ氏『キュラトリアルな行為としての制度構築』	2015/6/6	京都芸術センター		共催: 京都芸術センター
ALLNIGHT HAPS 2015 第一期「逆流」	2015/7/1-10/31	HAPS	TV Moore、森千裕、カワイオカムラ、小金沢健人、藤澤信輔、京都市立芸術大学彫刻専攻ゼミ1 (川瀬鮎美、君嶋紗帆、楠井沙耶、辻村知夏、御厨阿未、宮木亜葉)、金氏徹平	企画: 金氏徹平
FESTIVAL OMOIDE おもフェス	2015/10/31-11/1	HAPS	みあん (青柳いづみ×青葉市子)、オオルタイチ、梅田哲也、松見拓也、荒木優光、MADEGG、トーチカ、松本清和、塚原悠也、カワイオカムラもぐらが一周するまで、南大輔、金氏徹平、山崎伸吾、遠藤水城	企画: 金氏徹平、山崎伸吾
ALLNIGHT HAPS 2015 第二期「DEMO」	2015/11/7-2016/2/29	HAPS	荒木優光、金氏徹平、小松千倫、松見拓也、梅田哲也	企画: 山崎伸吾
キュレーター招聘 港千尋氏 (あいちトリエンナーレ 2016 芸術監督)	2015/12/9-10	HAPS スタジオなど市内スタジオ		
キュレータートーク 港千尋氏	2016/12/9	京都芸術センター		共催: 京都芸術センター
勉強会「電力自由化というチャンス、どう活かす?」	2016/3/4	HAPS	伊東真吾、春山文枝	共催: 京都市、助成: アーツサポート関西、協力: 新道自治連合会
公開研究会「こどもと郷土-『北白川こども風土記』を読む」	2016/3/6	HAPS スタジオ	池側隆之、菊地暁、佐藤守弘、谷本研、福島幸宏	後援: 科学研究費共同研究: 「地域」映像の集合化による再帰的ソーシャル・デザインの研究 (研究代表: 原田健一 (新潟大学))、共催: 京都市、助成: アーツサポート関西、協力: 新道自治連合会
相撲と芸術 フォーラム #2「相撲の太鼓のリズムから」	2016/3/11	HAPS	野村誠	共催: 京都市、助成: アーツサポート関西、協力: 新道自治連合会

トーク + フィールドワーク「ブリコラージュショック! -いしをいだく」	2016/3/12	HAPS スタジオ	小山田徹	共催：京都市、助成：アーツサポート関西、協力：新道自治連合会
音楽会（と談話）「表現のたね 歌の景色～元新道小学校音楽室 Ver.～」	2016/3/12	HAPS スタジオ	アサダワタル、中川裕貴、吉野正哲 / マイアミ、米子匡司	共催：京都市、助成：アーツサポート関西、協力：新道自治連合会
トーク『「後美術論」の先と後』	2016/3/13	MEDIA SHOP	榎木野衣、遠藤水城	共催：京都市、助成：アーツサポート関西、協力：新道自治連合会
展示「Telephonovision」	2016/3/6,12	HAPS スタジオ	毛原大樹	共催：京都市、助成：アーツサポート関西、協力：新道自治連合会
村田宗一郎個展「I've telegraphed and phoned and sent an air mail」	2016/3/4-3/28	HAPS	村田宗一郎	共催：京都市、助成：アーツサポート関西、協力：新道自治連合会
キュレーター招聘 サンドラ・シコロヴァ氏（テート・モダン パブリックプログラム・キュレーター）	2016/3/23-25	HAPS スタジオなど市内スタジオ		
オープン・ディスカッション「表現と倫理の現在」	2016/3/25	Social Kitchen	遠藤水城、サンドラ・シコロヴァ、大塚亮真、佐藤知久、伊藤存、アブ・ド・ラ・マドレーヌ	

OUR SCHOOL

タイトル	開催日	ゲスト	主催
うっかり母ちゃんの にほんばなし 親子でたのしむお茶と絵本	2015/4/18	福田地子	福地空果梨堂
ディズニー美術トーク	2015/5/9	作田知樹、岡本光博、入江早耶、高須健市、家本真実、大久保美紀	KUNSTARZT
小倉正史現代アート塾（京都編）第1回	2015/5/15	小倉正史	HAPS
うっかり母ちゃんの にほんばなし 親子でたのしむお茶と絵本	2015/5/16	福田地子	福地空果梨堂
榎木野衣『後美術論』を読む（第1回）	2015/5/22	遠藤水城	HAPS
アートライター藤田千彩の聞きたいこと考えたいこと ⑦日本を離れてどうなった？をスイス・パーゼルにレジデンスしていたアーティスト東亨順さんに聞く	2015/5/23	東亨順、藤田千彩	藤田千彩
Bettina Funcke『POP OR POPULUS - Art between High and Low』を読む（第1回）	2015/5/29	遠藤水城	HAPS
ユーストイベント『サービスするわよ!!』vol.01「セックスワーカーのためのサービス開発準備局『サービスするわよ!!』開局大プレゼン会!」	2015/5/30	MCパネマジ、MCローション	HAPS
美術教育を語ろう01 ゲスト：橋昇	2015/6/12	橋昇、月小路歩	HAPS
アートライター藤田千彩の聞きたいこと考えたいこと ⑧岩野勝人さんに「ワークショップって、なんですか?」とずばり聞いてみたい	2015/6/13	岩野勝人、藤田千彩	藤田千彩
榎木野衣『後美術論』を読む（第2回）	2015/6/19	遠藤水城	HAPS
うっかり母ちゃんの にほんばなし 親子でたのしむお茶と絵本	2015/6/20	福田地子	福地空果梨堂
小倉正史現代アート塾（京都編）第2回	2015/6/20	小倉正史	HAPS
Bettina Funcke『POP OR POPULUS - Art between High and Low』を読む（第2回）	2015/6/26	遠藤水城	HAPS
天井裏補修 / 断熱 技術伝授ワークショップ	2015/7/4, 5	山本茂	HAPS
うっかり母ちゃんの にほんばなし 親子でたのしむお茶と絵本	2015/7/18	福田地子	福地空果梨堂
Bettina Funcke『POP OR POPULUS - Art between High and Low』を読む（第3回）	2015/7/24	遠藤水城	HAPS
美術教育を語ろう02 —今の学校教育のことを話そう	2015/7/25	月小路歩	月小路歩
榎木野衣『後美術論』を読む（第3回）	2015/7/31	遠藤水城	HAPS
小倉正史現代アート塾（京都編）第3回	2015/8/1	小倉正史	HAPS
うっかり母ちゃんの にほんばなし 親子でたのしむお茶と絵本	2015/8/8	福田地子	福地空果梨堂
VvK Programm 13 MATSUNE Michikazu curation Face Forward 関連企画トーク	2015/8/29	アンナ・イェルモラエヴァ、ロベルタ・リマ、松根充和	KUNSTARZT
アートライター藤田千彩の聞きたいこと考えたいこと ⑨ 美術家・大西伸明を呼び出して版画についてしゃべらせる	2015/9/4	大西伸明、藤田千彩	藤田千彩
榎木野衣『後美術論』を読む（第4回）	2015/9/11	遠藤水城	HAPS
Bettina Funcke『POP OR POPULUS - Art between High and Low』を読む（第4回）	2015/9/18	遠藤水城	HAPS
うっかり母ちゃんの にほんばなし 親子でたのしむお茶と絵本	2015/9/19	福田地子	福地空果梨堂
小倉正史現代アート塾（京都編）第4回	2015/9/19	小倉正史	HAPS
ユーストイベント『サービスするわよ!!』vol.02「セックスワーカーのためのサービス開発準備局『サービスするわよ!!』性教育の現場ってどうなってるの?」	2015/10/10	あかたちかこ、MC パネマジ、MCK	HAPS
榎木野衣『後美術論』を読む（第5回）	2015/10/16	遠藤水城	HAPS
うっかり母ちゃんの にほんばなし 親子でたのしむお茶と絵本	2015/10/17	福田地子	福地空果梨堂
美術教育を語ろう03 —世界の美術教育について	2015/10/17	月小路歩	月小路歩
Bettina Funcke, POP OR POPULUS - Art between High and Low を読む（第5回）	2015/11/6	遠藤水城	HAPS
うっかり母ちゃんの にほんばなし 親子でたのしむお茶と絵本	2015/11/7	福田地子	福地空果梨堂
アートライター藤田千彩の聞きたいこと考えたいこと ⑩ 永岡大輔1) ワークショップ サラムドゥル	2015/11/14	永岡大輔、藤田千彩	藤田千彩
アートライター藤田千彩の聞きたいこと考えたいこと ⑩ 永岡大輔2) トーク 未来を考えるということを考える	2015/11/14	永岡大輔、藤田千彩	藤田千彩
榎木野衣『後美術論』を読む（第6回）	2015/11/20	遠藤水城	HAPS

小倉正史現代アート塾（京都編）第5回	2015/11/21	小倉正史	HAPS
「衣服をつくりなおす」ための作戦 SAGYO の野良着 お披露目パーティ&レクチャー	2015/12/12	伊藤洋志、岩崎恵子、長山武史	HAPS
【合同開催】榎木野衣『後美術論』、Bettina Funcke『POP OR POPULUS - Art between High and Low』を読む	2015/12/18	遠藤水城	HAPS
うっかり母ちゃんの にほんばなし 親子でたのしむお茶と絵本	2015/12/19	福田地子	福地空果梨堂
緊急開催!!「新しい骨董」in 京都	2015/12/19	山下陽光、下道基行、影山裕樹	新しい骨董
榎木野衣『後美術論』を読む（第7回）	2016/1/15	遠藤水城	HAPS
うっかり母ちゃんの にほんばなし 親子でたのしむお茶と絵本	2016/1/16	福田地子	福地空果梨堂
Bettina Funcke『POP OR POPULUS - Art between High and Low』を読む（第6回）	2016/1/22	遠藤水城	HAPS
小倉正史現代アート塾（京都編）第6回	2016/1/23	小倉正史	HAPS
芸術に関わる組織のための労働環境とは？	2016/1/27	三輪晃義	HAPS 協力：NPO 法人アートNPOリンク
アーティストに向けた確定申告講座（初級編）	2016/2/6	大川聡	HAPS
榎木野衣『後美術論』を読む（第8回）	2016/2/19	遠藤水城	HAPS
美術教育を語ろう04 —これまでのまとめ	2016/3/19	月小路歩	月小路歩

協力事業

タイトル	開催日	会場	協力内容	主催
サーチプロジェクト vol.4 ニュー "コロニー / アイランド" "鳥" のアート & サイエンスとその気配	2015/3/28-6/28	アートエリア B1	スタジオ使用 (yang02)	アートエリア B1【大阪大学 +NPO 法人ダンスボックス + 京阪電気鉄道(株)】
Before Night Falls 夜になるまえに	2015/4/4-5/10	ARTZONE & MEDIA SHOP gallery	スタジオ使用 (谷中佑輔、村田宗一郎)	夜になるまえに実行委員会 & 京都造形芸術大学 ARTZONE
京都銭湯芸術祭 二〇一五	2015/4/18-5/17	京都市中京区・左京区・東山区にある銭湯 8 店舗、堀川団地	広報協力	京都銭湯芸術祭実行委員会
Studio Exhivisit 2015	2015/4/29-5/10	GArtStudio、Ink、punto、shima、trace、ウズイチ・ウズマキスタジオ、うんとこスタジオ、共同アトリエ蓮華荘、凸倉庫、むこうスタジオ、山ノ内造形室、淀スタジオ	企画にあたり相談、広報協力	Studio Exhivisit 2015 実行委員会
及川潤耶 VOICE LANDSCAPE - ta ka ta ka Crickets.	2015/5/22	法然院	広報協力	及川潤耶、川崎弘二
オープン・スペース 2015 展	2015/5/23-2016/3/6	NTT インターコミュニケーション・センター [ICC]	スタジオ使用 (yang02)	NTT インターコミュニケーション・センター [ICC]
糞土師 伊沢正名トーク「うんこはごちそう」	2015/6/14	DBC (出町柳文化センター)	会場紹介	柴田英昭
動きのカガク展	2015/6/19-9/27	21_21 DESIGN SIGHT	スタジオ使用 (yang02)	21_21 DESIGN SIGHT
正しいらくがき展	2015/7/19-8/30	茅ヶ崎市美術館	スタジオ使用 (yang02)	公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団
ハイバートニック・エイジ	2015/7/20-8/30	京都芸術センター	スタジオ使用 (NAZE)	京都芸術センター
東山フェスタ 2015	2015/8/1-8/9	京都市東山青少年活動センター	広報協力	京都市、公益財団法人 京都市ユースサービス協会 (京都市東山青少年活動センター)
タイトルとホコラとツーリズム season2《こちら地蔵本準備室》	2015/8/15 — 8/30	Gallery PARC	広報協力	「タイトルとホコラとツーリズム」実行委員会
トーチカ展 - ひかりあそび	2015/9/12-11/8	黒部市美術館	スタジオ使用 (トーチカ)	黒部市美術館
武田俊彦 個展「Flying Elbow Drop」	2015/9/18-27	青春画廊 : gallery the youth	広報協力	青春画廊 : gallery the youth
Theater SCOPE #01, #02	2015/9/20, 23	京都芸術センター、trace	広報協力	Theater SCOPE project
THE BOX OF MEMORY—Yukio Fujimoto	2015/10/3-2016/9	KYOTO ART HOSTEL kumagusuku	広報協力	KYOTO ART HOSTEL kumagusuku
コクとキレ	2015/10/13-25	海岸通ギャラリー・CASO	機材協力	京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻 11 名
A Machinic Repertoire	2015/10/17, 18	京都市左京区北白川山田町	会場紹介	d i n g u m
椎原保 + 谷中佑輔「驟 (かわ) す」	2015/10/24-11/7	特定非営利活動法人キャズ (CAS)	スタジオ使用 (谷中佑輔)	特定非営利活動法人キャズ (CAS)
kiseki - キセキ -	2015/11/1-8	観音提寺正月堂 客殿	スタジオ使用 (村田宗一郎)	鳥ヶ原村民芸術「蜜の木」
前川絨土 個展「Scales, others」	2015/11/7-22	Gallery PARC	広報協力	Gallery PARC
第 8 回アジア・パシフィック現代美術トリエンナーレ	2015/11/21-2016/4/10	クイーンズランド・アートギャラリー プリズベン近代美術館	出展にあたり相談	クイーンズランド・アートギャラリー プリズベン近代美術館
えのこじま凸凹ラジオ	2015/11/21 開局	大阪府立江之子島文化芸術創造センター [enoco]	スタジオ使用 (毛原大樹)	大阪府立江之子島文化芸術創造センター [enoco]
APP ARTS STUDIO vol.17 × Theater SCOPE #4 きのうの景色 - 奥会津の木地師 -	2015/12/6	Art Lab Ocean	機材協力	Theater SCOPE project、染谷聡 (APP ARTS STUDIO)
黒髪とマドレーヌ	2015/12/19-27	京都芸術センター	滞在先紹介	岩崎陽子
クロニクル、クロニクル!	2016/1/25-2017/2/19	CCO クリエイティブセンター大阪	スタジオ使用 (谷中佑輔)	クロニクル、クロニクル! 実行委員会
ゴリラ展。	2016/2/10-28	galerie weissraum	出展にあたり相談	大塚亮真
第 3 回 みかんマルシェ実行委員会 企画展 みんなみにいくみ・な・み・くエ キンピション	2016/3/12-27	仮称・東九条長屋 (ヒスロム作業場)	会場コーディネート	みかんマルシェ実行委員会
第 20 回シドニー・ビエンナーレ	2016/3/18-6/5	キャリッジワークスほか	出展にあたり相談	the Biennale of Sydney Ltd
gallery the youth opening group exhibition : contemporary art works in kyo-machiya	2016/3/26-4/10	青春画廊 : gallery the youth	広報協力	青春画廊 : gallery the youth

gallery the youth opening group exhibition : craft works in the fabric factory machiya	2016/3/26-4/10	青春画廊西陣:gallery the youth for craft work	広報協力	青春画廊:gallery the youth
--	----------------	---	------	------------------------

トーク等への参加

タイトル	開催日	会場	主催
龍谷大学 アートマネジメント 授業	2015/4/20	龍谷大学深草キャンパス	龍谷大学 国際学部 国際文化学科
東山アートツアー	2015/5/2	HAPS 周辺	ART GRID KYOTO
東山町歩き	2015/5/3	HAPS 周辺	禅居庵× FOIL
「ULTRA x ANTEROOM exhibition 2015」 クロージingtトークイベント	2015/5/9	ホテルアンテルーム京都	ホテルアンテルーム京都
京都精華大学 ソーシャルデザイン演習	2015/5/13	HAPS	京都精華大学ポピュラーカルチャー学部
新しい交流の場を切りひらくアートマネジメント	2015/7/18	九州大学 大橋キャンパス 木工工房	九州大学大学院芸術工学研究院附属ソーシャルアートラボ
京都流議定書 2015	2015/7/26	Hyatt Regency Kyoto	京都流議定書イベント実行委員会
「ハイパートニック・エイジ」展 アーティスト・ミーティング	2015/8/30	京都芸術センター	京都芸術センター
A-Lab Talk Vol.3「まちの中のアートの役割」	2015/11/21	あまらぶアートラボ A-Lab.	尼崎市
平成 27 年度まちづくり講座	2016/2/7	練馬区立区民・産業プラザ Coconeri ホール	公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 練馬まちづくりセンター
鳥取藝住祭トークセッション ～藝術×住まい＝「藝住」は可能か!?～	2016/3/5	京都市サテパーク 町家スタジオ	鳥取藝住祭事務局

広報掲載

記事タイトル	掲載日	媒体	分類	発行元
榎本耕一の絵画「超能力日本」	2015/4/1	Meets Regional	雑誌	京阪神エルマガジン社
THINGS UNKNOWN TO NEWCOMERS Essential Guide to Kyoto's Art Network	2015/4/1	ARTCO MONTHLY TAIWAN 典藏今藝術	雑誌	典藏藝術家庭股份有限公司
京都の空き家とアーティストの住環境	2015/4/4, 11	キッサコの家をつくるならラジオ	ラジオ	FM797 京都三楽ラジオカフェ、全京都建設協同組合
榎本耕一の個展、京都などモチーフ	2015/4/10	日本経済新聞（関西版夕刊）	新聞	日本経済新聞社
京都に巻き起こるニュー・ニューウェーブ	2015/4/20	美術手帖	雑誌	美術出版社
濃密に描いた「京都」榎本耕一 個展	2015/4/22	毎日新聞（大阪版夕刊）	新聞	毎日新聞社
神馬啓佑個展「眼球に近い面」	2015/5/5	Refsign	web	株式会社エニアックインターナショナル
ART NAVI	2015/5/18	美術手帖	雑誌	美術出版社
京都市「ソーシャルプロダクト」マップ	2015/5/1	京都市「ソーシャルプロダクト」マップ	その他	ソーシャル・プロダクトを普及させる会
神馬啓佑個展「眼球に近い面」	2015/5/20	京都造形芸術大学ウェブサイト	web	京都造形芸術大学
情報ワイド	2015/5/26	京都新聞	新聞	京都新聞社
神馬啓佑個展「眼球に近い面」	2015/5/27	京都で遊ぼう ART	web	京都文化推進委員会、株式会社エクザム
神馬啓佑個展「眼球に近い面」	2015/5/29	KANSAI ART BEAT	web	公益財団法人西枝財団、NPO 法人 GADAGO
地域貢献型人材の育成につながる取り組みの例	2015/5/1	京都華頂大学 大学案内	その他	京都華頂大学
京都六原地区の空き家活用スポットを訪ねる	2015/6/1	建築士	雑誌	日本建築士連合会
造形大教授と元中学美術教諭 12 日に「美術教育」トーク	2015/6/9	読売新聞	新聞	読売新聞社
美術教育を語ろう 01	2015/6/9	京都造形芸術大学ウェブサイト	web	京都造形芸術大学
美術教育の在り方考える あすから東山で連続講座	2015/6/11	京都新聞	新聞	京都新聞社
美術教育を語ろう 01 ゲスト:椿 昇	2015/6/12	Refsign	web	株式会社エニアックインターナショナル
アートスクエア	2015/6/13	京都新聞	新聞	京都新聞社
卒業生紹介	2015/6/13	武蔵野美術大学 芸術文化学科 2015	その他	武蔵野美術大学 芸術文化学科研究室
まちかど	2015/6/19	京都新聞	新聞	京都新聞社
空き家解消へ NPO 続々	2015/6/22	京都新聞	新聞	京都新聞社
アートフラッシュニュース	2015/6/25	artscape	web	大日本印刷株式会社
ALLNIGHT HAPS 2015「逆流」[DEMO] 開催	2015/6/30	Refsign	web	株式会社エニアックインターナショナル
	2015/6/30	商品と顧客をつなぐ カタログのデザイン	書籍	ビー・エヌ・エヌ新社
【ALLNIGHT HAPS】2015 年度 前期「逆流」	2015/7/2	京都で遊ぼう ART	web	京都文化推進委員会、株式会社エクザム
美術館博物館さんば 東山七条～五条編	2015/7/7	アートとデザインを楽しむ 京都本 by 京都造形芸術大学	雑誌	京阪神エルマガジン社
ALLNIGHT HAPS 2015「逆流」[DEMO]	2015/7/1	REALKYOTO	web	(有)小崎哲哉事務所 京都造形芸術大学大学院学術研究センター
ALLNIGHT HAPS 逆流	2015/7/1	KANSAI ART BEAT	web	公益財団法人西枝財団、NPO 法人 GADAGO
ART NAVI	2015/7/17	美術手帖	雑誌	美術出版社
表現者のためのお悩み相談室	2015/7/31	paper C	その他	一般財団法人 おおさか創造千島財団
実践につながる—卒業生の活躍	2015/7/1	武蔵野美術大学 芸術文化学科ウェブサイト	web	武蔵野美術大学 芸術文化学科
ART NAVI	2015/8/17	美術手帖	雑誌	美術出版社
市民活動団体からのメッセージ	2015/9/1	きょうと市民しんぶん	新聞	京都市
FESTIVAL OMOIDE おもフェス	2015/10/7	Refsign	web	株式会社エニアックインターナショナル
ギャラリー	2015/10/24	京都新聞	新聞	京都新聞
おもフェスの思い出	2015/11/2	REALKYOTO	web	(有)小崎哲哉事務所 京都造形芸術大学大学院学術研究センター
【ALLNIGHT HAPS】2015 年度 後期「DEMO」	2015/11/5	京都で遊ぼう ART	web	京都文化推進委員会、株式会社エクザム

「DEMO」展	2015/11/1	KANSAI ART BEAT	web	公益財団法人西枝財団、NPO 法人 GADAGO
ALLNIGHT HAPS 2015「DEMO」 荒木優光「男と女のエコー」	2015/11/6	Refsign	web	株式会社エニアックインターナショナル
ALLNIGHT HAPS「DEMO」	2015/11/26	HereNow	web	株式会社 CINRA
ALLNIGHT HAPS 2015「DEMO」 DEMO 金氏徹平『White Discharge / スカルプチャーのオバケのレクチャー』	2015/11/29	Refsign	web	株式会社エニアックインターナショナル
東山 アーティスト・プレイメント・サービス、第5期 HAPS スタジオ使用者募集	2015/12/26	ART iT	web	株式会社アートイット
HAPS スタジオ使用者募集のお知らせ	2015/12/28	Refsign	web	株式会社エニアックインターナショナル
ALLNIGHT HAPS 2015「DEMO」小松千倫・石塚俊『○（京都・ニューヨーク）	2015/12/28	Refsign	web	株式会社エニアックインターナショナル
地域再生に知恵 京滋住民 トライ	2016/1/1	京都新聞	新聞	京都新聞社
東山アーティスト・プレイメント・サービス「ALLNIGHT HAPS」クリエイティブにおける自由と民主主義と「DEMO 展」	2016/1/11	KANSAI ART BEAT	web	公益財団法人西枝財団、NPO 法人 GADAGO
制作スタジオ使用者を募る	2016/1/15	京都新聞	新聞	京都新聞社
ALLNIGHT HAPS 2015「DEMO」松見拓也「  (20℃ 7 分 4%)”	2016/1/28	Refsign	web	株式会社エニアックインターナショナル
	2016/2/12, 19	d design travel radio	ラジオ	株式会社エフエム京都
ALLNIGHT HAPS 2015「DEMO」梅田哲也 / それで終わったのか	2016/2/13	Refsign	web	株式会社エニアックインターナショナル
ラジオ・カーレポート	2016/2/16	森谷威夫のお世話になります!	ラジオ	株式会社京都放送
HONESTY AND MODESTY	2016/2/16	REALKYOTO	web	(有)小崎哲哉事務所 京都造形芸術大学大学院学術研究センター
トーク:榎木野衣『後美術論』の先と後	2016/2/16	REALKYOTO	web	(有)小崎哲哉事務所 京都造形芸術大学大学院学術研究センター
	2016/2/1	京都つながるMAP	その他	京都府
村田宗一郎「I've telegraphed and phoned and sent an air mail」	2016/2/1	KANSAI ART BEAT	web	公益財団法人西枝財団、NPO 法人 GADAGO
東山 アーティスト・プレイメント・サービス (HAPS)	2016/2/20	Refsign	web	株式会社エニアックインターナショナル
電力自由化から相撲まで HAPS が多角的イベント	2016/2/29	京都新聞	新聞	京都新聞社
HONESTY AND MODESTY	2016/3/2	Refsign	web	株式会社エニアックインターナショナル
HONESTY AND MODESTY	2016/3/9	京都で遊ぼう ART	web	京都文化推進委員会、株式会社エクザム
村田宗一郎個展「I've telegraphed and phoned and sent an air mail」	2016/3/15	HereNow	web	株式会社 CINRA
オープン・ディスカッション「表現と倫理の現在」	2016/3/17	Refsign	web	株式会社エニアックインターナショナル
Asian Australian engagement	2016/3/	ART MONTHLY AUSTRALASIA	雑誌	Art Monthly Australia Ltd

HAPS PRESS

HAPS PRESS
2015 年度
コンテンツ

芸術と社会の関係を実験的に考察していくためのウェブマガジン。

2015年度に更新されたものは以下のとおりです。

□can curatorial attitudes become form? (トーク映像)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 01 長谷川祐子が語るマッシュー・バーニー | 04 南條史生が語るマリオ・メルツ |
| 02 建畠哲が語る草間彌生 | 05 天野太郎が語るルイーズ・ブルジョア |
| 03 神谷幸江が語るサイモン・スターリング | |

□『表現と倫理の間で』（座談会：ブブ・ド・ラ・マドレーヌ、山田創平、遠藤水城）

アートをめぐる表現と政治的適正性の不和、公共性、自由な表現の条件とは何か、現実の事例を参照しつつ問題の核心にせまる座談会。

□岡 啓輔インタビュー『僕は建築のいない世界をずっと夢見てきた。』

□毛原大樹企画『目に映らないメッセージ ——ラジオ・アートの空間的思考』

20世紀の幕開けから現在に至るまで、「ラジオ」が表現のメディアとしてどのように活用されてきたか。空間に満たされる目には映らない“電波”を想像しながら、表現者たちは何を思い見たのか

□Exhibition Review

あらゆる人に開かれた展覧会レビュー。あなたがみた展覧会に対する文章を随時募集中。

対象は京都市内で開催されたもの限定。

<http://haps-kyoto.com/haps-press>

アンケート調査結果

市民の方々と芸大生の声を集めました。

概要

HAPS（東山アーティスト・プレイスメント・サービス）の事業について、ニーズの把握、プログラムの効果評価を試みるべくアンケート調査を実施したのでその結果を報告する。本年度（2015）アンケートは二種類実施された。ひとつは市民の皆さんに調査票を配布した「市民調査」であり、もうひとつは京都市内の芸術系大学に在学する皆さんに調査票を配布した「学生調査」である。

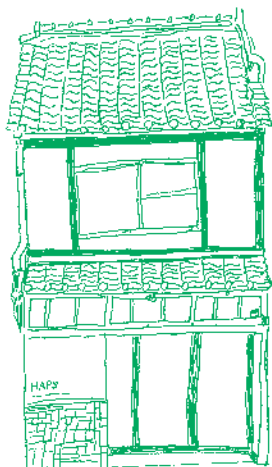
アンケート実施期間と実施方法

大学調査	2015年9月から12月まで（質問紙を各大学に配布の上、学内で取りまとめ HAPS 事務所まで郵送を求めた）
市民調査	2015年11月（質問紙を六原・新道学区で催されるイベントを通して配布、回収した）

アンケート配布回収状況

大学調査	配布数 835 票・回収数 324 票（昨年度は 213 票）
市民調査	配布数 400 票・回収数 276 票（昨年度は 227 票）

Do you know
HAPS?



全体のまとめ

市民調査について

市民調査は回答者の裾野が広がり、今回20代以下の回答者がほぼ倍増した。回答者の多様化はデータの蓄積として非常に重要だが、経年での評価には注意を要する。本年度は参考として「20代以下」の回答を加えない分析結果も併記した。それらの補正データも加味しても、全体としてはここ数年の市民のニーズは変わっておらず、「京都」にも「自らの住まう学区」にも「アーティストが必要」と考えている。HAPS に関する諸々の認知も、ほぼ一定の水準で推移しており、HAPS の順調な活動ぶりがかがえる。新たな変化としては「地域におけるアーティストの必要性（京都・学区）」に関する項目で、これまでの調査で一切回答のなかった「非常に思わない」が確認されたことである。因果関係を知るにはさらなる調査が必要だが、「京都にアーティストが必要か」との問いに「非常に思わない」と回答した6人のうち、HAPS を認知していたのは1名のみ、「学区にアーティストが必要か」との問いに「非常に思わない」と回答した5人のうち、HAPS を認知していたのも1名のみであった。ここから考えるのは、HAPS の事業が、HAPS を知らず、かつ地域にアーティストは必要ないと考えている人々、つまり HAPS の活動から最も遠いところにいる人々にもアプローチし始めているということである。否定的な回答は事業の深化のひとつの結果でもあるだろう。

大学調査について

昨年度と比べて基本属性に大きな変化はなく、大学生における「HAPS の認知」も HAPS の活動の広がりと同比例して着実に「経年的な増加傾向」を示している。またこれは大学調査開始時からの変わらぬ傾向だが、京都市出身者と京都以外出身者の間で、「卒業後も京都で活動したい」と答える割合が大きく異なる。京都の芸術系大学の学生が卒業後に京都で活動しない場合、出身地が京都外であることから、居住地と制作場所の確保ができずに活動をあきらめている可能性が示唆される。また昨年度調査との大きな違いは、各大学での卒業後の創作意志に関する「積極層」と「消極層」の割合の変化である。「積極層」の減少は、HAPS のクライアント層の変化、クライアント層のニーズの変化を示しており、重要である。今後の変化に注目したい。

※項目により、数票の無回答があるため、合計が100%となっていない場合がある。

※回答者のジェンダー構成は、80.2%が女性、17.9%が男性であった

※回答者の年齢構成は、平均が22.65歳、最年少は21歳、最高齢は73歳であった

※回答者に占める各大学の割合は、Q 8のとおりである。

京都精華大学（33.6%）が最も多く、京都市立芸術大学（18.2%）が最も少なかった。

※回答者の出身地は、京都（府市）が21.6%、京都以外が77.8%

※各大学の回答者に占める京都市出身者の割合は以下の通りである。

①京都嵯峨芸術大学の回答者のうち京都市出身者の割合：21.4%（前年は12.5%）

②京都造形芸術大学の回答者のうち京都市出身者の割合：10.0%（前年は12.0%）

③京都精華大学の回答者のうち京都市出身者の割合：21.1%（前年は27.5%）

④京都市立芸術大学の回答者のうち京都市出身者の割合：37.3%（前年は31.4%）

※回答者に占める学部/院の割合は学部生が86.1%、大学院生が12.0%であった

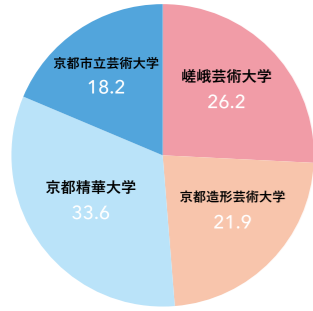
山田創平

（京都精華大学人文学部准教授）

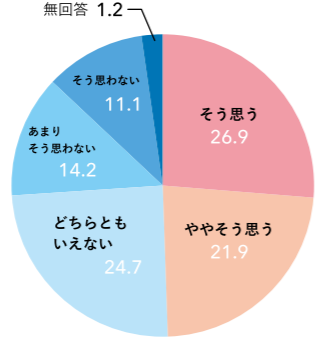
大学調査結果より抜粋（単純集計）

大学調査（2015）では、京都嵯峨芸術大学、京都造形芸術大学、京都精華大学、京都市立芸術大学の4大学からデータを得た。調査は本年度（2015）で4年目である。本年度の回答数は324件であった（昨年度調査は213件）。全体的な傾向は昨年とほぼ同様である。

Q 8：調査票に占める各大学の割合



Q 9：卒業後はアーティストとして制作を継続していこうと思いますか



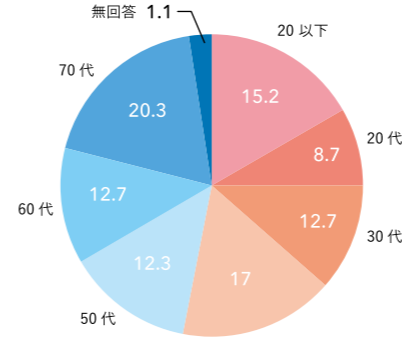
この項目に関して「そう思う」「ややそう思う」を【積極層】、「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「そう思わない」を【消極層】とした場合、各大学の比率は以下のようになる。
 京都嵯峨芸術大学 積極層35.0%：消極層65.0%（前年65.6%：34.4%）
 京都造形芸術大学 積極層55.8%：消極層44.3%（前年49.4%：50.6%）
 京都精華大学 積極層56.0%：消極層44.0%（前年59.5%：40.5%）
 京都市立芸術大学 積極層50.0%：消極層50.0%（前年71.5%：28.5%）
 なお「そう思う（卒業後も制作を続けたい）」が最も多かったのは京都造形芸術大学の32.9%、「そう思わない（卒業後も制作を続けたいとは思わない）」が最も多かったのは京都市立芸術大学の15.5%であった。

市民調査結果より抜粋（単純集計）

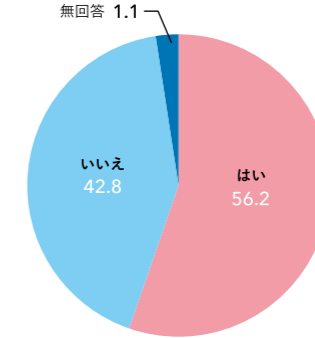
市民調査（2015）では、六原フェスタ（2015/11/8）、新道学区餅つき大会（2015/11/15）などのイベントを通してデータを得た。調査は本年度（2015）で4年目である。

本年度の回答数は276件であった。回答者の基本的な属性は次の通りである。全体的な傾向は昨年とほぼ同様である。回答者の年齢構成は、70歳代が最多であったが、昨年度と比べて20代以下の回答がほぼ倍増している。子どものアンケート参加者が多かったと考えられ、この点は、後の分析において考慮せねばならない。

Q 1：回答者の年齢

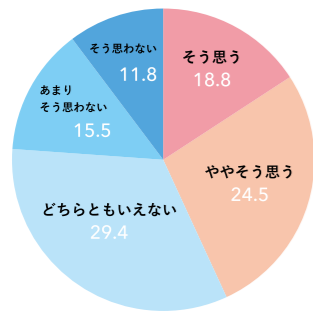


Q 2：HAPSを知っていますか？



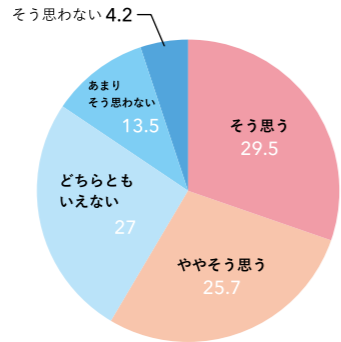
認知は重要な指標だが2012年度で52.8%、2013年度で64.2%、2014年度で76.3%、2015年度で56.2%となっている。なお、年齢別のHAPS認知は以下のようになっている。20代から70代では「はい>いいえ」だが20代以下のみ「はい<いいえ」となっている。

Q10：卒業後も京都を拠点に制作を継続したいと思いますか

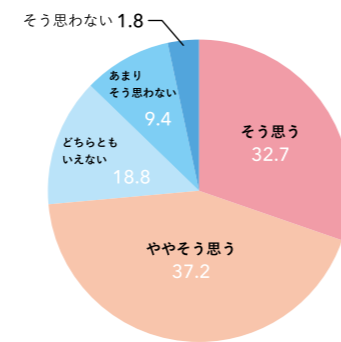


Q10と「出身地（京都市/京都以外）の関係を見ると、京都市出身者の59.2%が「卒業後も京都で活動したい」と考えている一方で、京都以外出身者（国外4名含む）で「卒業後も京都で活動したい」と考えている学生は46.0%である。出身地（たとえば「実家の有無」）が「卒業後も京都で活動したい」という意志と関係していることがわかる。

Q11：制作場所は居住場所とは別に必要だと思いますか



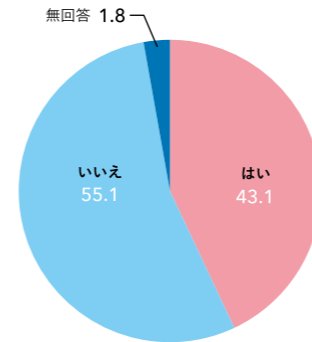
Q12：制作をしていく場所で、地元の方の理解は必要だと思いますか



上記3項目について「そう思う」「ややそう思う」の合計割合について一昨年度調査からの変化を追うと右記のようになる。

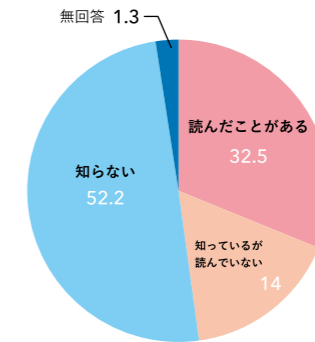
- 「卒業後も京都を拠点に制作を継続したいと思いますか」
48.2%（2013）→41.9%（2014）→43.3%（2015）
- 「制作場所は居住場所とは別に必要だと思いますか」
66.0%（2013）→53.2%（2014）→55.2%（2015）
- 「制作をしていく場所で、地元の方の理解は必要だと思いますか」
74.3%（2013）→66.5%（2014）→69.9%（2015）

Q 3：HAPSのオフィスを知っていますか？



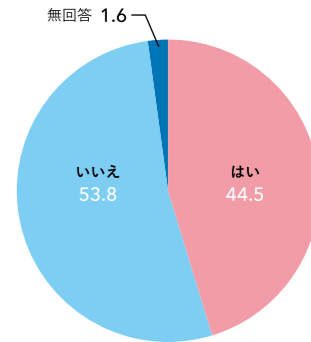
2012年度で44.4%、2013年度で58.5%、2014年度で63.2%、2015年度で43.1%となっている。当該データに関しても、あくまでも参考として「20代以下」を除いた分析を行ったところ、49.4%となった。

Q4：「ハッピーはっぶす」を知っていますか？（六原学区）



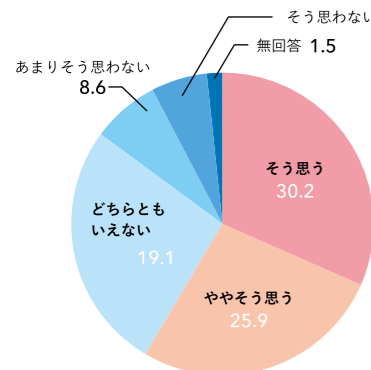
「ハッピーはっぶす」の認知は、一昨年度（2013年度）から調査項目を統一している（「読んだことがある」「知っているが読んでいない」「知らない」の3項目）。2013年度で56.8%、2014年度で60.4%、2015年度で46.5%となっている。当該データに関しても、あくまでも参考として「20代以下」を除いた分析を行ったところ、55.0%となった。

Q 5：HAPSのアトリエを知っていますか？（新道学区）



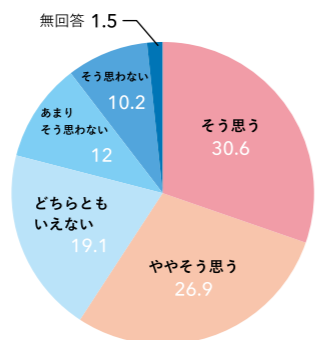
認知の割合は2014年度で58.7%、2015年度で44.5%であった。当該データに関しても、あくまでも参考として「20代以下」を除いた分析を行ったところ、50.5%となった。

Q13：京都で作品の発表をしたいと思いますか



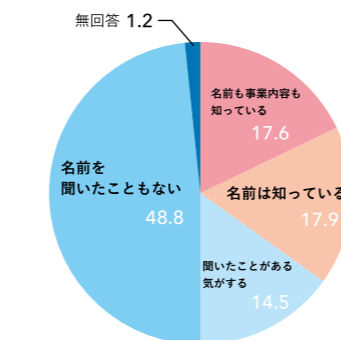
「そう思う」「ややそう思う」と回答した学生の割合は3年連続で低下している。
63.2%（2013）→60.1%（2014）→56.1%（2015）

Q14：大学を卒業した後も専門家に作品を見せる機会を得たいと思いますか



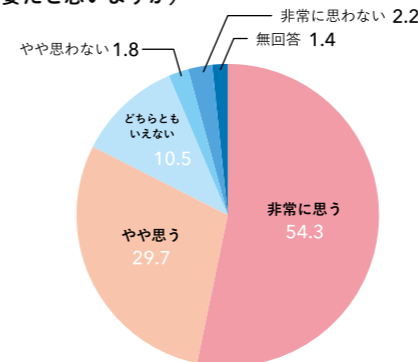
「そう思う」「ややそう思う」の合計割合について一昨年度調査からの変化を追うと以下のようになる。
55.1%（2013）→59.7%（2014）→57.5%（2015）

Q15：大学生のHAPS認知

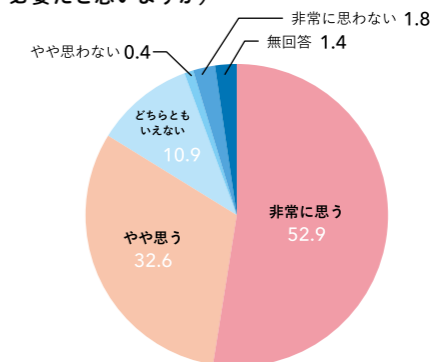


本項目では「名前も事業内容も知っている」「名前を知っている」「聞いたことがある気がする」と回答した学生の割合は下記の通り昨年に比べ増加している。HAPSの認知は確実に広がっている。
42.9%（2013）→48.6%（2014）→50.0%（2015）

Q 6：芸術家の必要性（京都に芸術家は必要だと思いますか）



Q 7：芸術家の必要性（学区内に芸術家が必要だと思いますか）



芸術家の必要性について「非常に思う」「やや思う」を「必要性認識」としてまとめる。京都での「必要性認識」は、2013年度で93.8%、2014年度で90.4%、2015年度で84%であった。さらに学区内での必要性認識は、2013年度で89.2%、2014年度で85.5%、2015年度で85.5%であった。いずれも極めて高い数値となっており、学区内での「必要性認識」の割合は過去最高となっている。





HAPS オフィス縁側にて。右から遠藤水城、芦立さやか、藏原藍子、埴美智子、西村知子

平成 27 年度 文化庁文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業

京都市「若手芸術家の居住・制作・発表の場づくり」事業

HAPS 事業報告書 2015 年度

発行日	2016 年 3 月 31 日
発行元	東山 アーティスツ・プレイスメント・サービス実行委員会 (HAPS)
企画・編集	HAPS 実行委員会事務局
編集	松永大地
デザイン	坂田佐武郎
写真	飯川雄大、松本和史、松見拓也、水木壘、守屋友樹、吉本和樹
印刷	株式会社サンエムカラー
協力	荒川博、井上康子、小倉正史、梶川裕仙、熊野陽平、嶋春香、 寺川徹、東條由佳、富吉則文、中村裕太、西垣肇也樹、平松実紗、 水木壘、港千尋、南大輔、森田秀一、山崎伸吾、山田創平、 yang02、和田寛司、渡辺雅絵（敬称略）

HAPS

〒 605-0841 京都市東山区大和大路通五条上る山崎町 339 番地
339 Yamazaki-cho,

Higashiyama-ku, Kyoto 605-0841, JAPAN

TEL 075 525 7525 FAX 075 525 7522

E-MAIL info@haps-kyoto.com <http://haps-kyoto.com>

HAPS



HAPS

東山 アーティスト・プレイズメント・サービス(HAPS)

〒605-0841 京都市東山区大和大路通

五条上る山崎町339番地

339 Yamazaki-cho, Higashiyama-ku,

Kyoto 605-0841, JAPAN

TEL 075 525 7525 FAX 075 525 7522

E-MAIL info@haps-kyoto.com

<http://haps-kyoto.com>